

保健体育	[Redacted]	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
東書					
1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
<p>資料のスポーツ基本法により、スポーツを行う自由と権利についてふれられていることがわかる。スポーツを支える人々の仕事の紹介などから、自分の判断と責任で道を切り開くことができることがわかる。公共の精神に基づいて、スポーツのルールのことや気持ちよく行うためのマナーのことにもふれている。スポーツの世界で活躍する有名な人々やそれを支える人の紹介が写真で大きく取り上げられているので非常に見やすくなっている。また、我が国と郷土の伝統についてもふれられている。「やってみよう」や章末資料、確認の問題がついており、授業も展開しやすく、学習意欲を高める配慮になっている。相手を尊重する道徳心のことや運動やスポーツで身につけることができる社会性についてふれている。健康の保持増進のために行われている身近なスポーツが資料などにより紹介されている。障がいの有無をこえたスポーツの紹介やパラリンピックの紹介が写真入りで見やすく配慮されている。</p> <p>＜①②④⑥⑦⑧⑨⑩⑪＞</p>					
2. 教育基本法に基づく観点					
<p>幅広く知識と教養を身につけることができる内容でまとめている。章末資料は子どもたちもわかりやすく表現されている。運動と健康、休養・睡眠と健康、生活習慣病の予防など現代日本の抱える問題について詳しくふれられている。また、個人の健康を守る社会の取り組みでは、字体をかえて健康増進法、健康診断、健康相談、保健活動などを紹介している。スポーツにおけるルールとマナーがフェアプレーを生み出し、社会性が日常生活の場でも役立つ内容が示されている。性に関する内容が簡潔化され、授業者も指導しやすい内容のみが記載されている。その中でも異性の尊重という表現は残されているため、子どもたちにも伝わりやすい。生命誕生を図るスポーツ大会が世界平和に貢献している内容も詳しく表現されている。全体を通して、章末資料や確認問題がわかりやすい表現になっている。</p> <p>＜①②③④⑤＞</p>					
3. 学習指導要領に基づく観点					
<p>心と体を一体としてとらえることとして、「心と体の関わり」「運動やスポーツが心身に及ぼす効果」をそれぞれ1時間単位で取扱い、章末資料などで科学的に理解できるような内容を掲載している。運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることについて、有名選手を取り上げたり、近年行われた競技会の写真を使うなどして、わかりやすく掲載されている。運動をする態度を育てることについて、教科書の本文に加えて「考えてみよう」や「やってみよう」などが随所に盛り込まれ、理解しやすくなっている。生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることについて、さまざまなスポーツ文化や、オリンピック、パラリンピックを取り上げて内容を記載している。健康・安全に関する個人生活との関わりについて、小学校での学習を振り返る内容や、成長の過程を系統化した内容が所々設けられている。「指導計画の作成と内容の取扱い」のうち総論的な事項に対して、道徳教育に基づいた内容も少し取り上げている。</p> <p>＜①②③⑦⑧⑩＞</p>					
4. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく観点					
<p>運動やスポーツの捉え方の変化について、スポーツの源流である「気晴らし」から「競争的な運動」に移ったことや、日常生活を充実させたいという欲求から、誰もが気軽に取り組めるスポーツが盛んになってきたということを紹介している。また、章末資料では絵を用いて、わかりやすく表現している。運動やスポーツをなぜするのか、運動習慣の必要性、「スポーツは苦手だ」という表現から自己開発の機会を提供するという流れで表現されており、わかりやすい。章末資料もわかりやすく表現されている。部活動や地域スポーツクラブとの関連は表現されていないが、運動の振り返りをデータ分析したり、表現方法の工夫等を示しており、毎日運動することの大切さを理解できるように配慮されている。</p> <p>＜①②③＞</p>					
5. 外的要素に関する観点					
<p>すべてのページにカラー印刷がされており、目にも優しくつくられている。また、文字の大きさも適切であり、字間、行間も生徒にとっても読みやすい工夫がなされている。また、使用されている挿絵なども鮮明で親しみやすい。</p>					
6. 構成・配列に関する観点					
<p>分量も1時間内でしっかりと指導できるように工夫されている。見開きが1時間内で行うべきものということも生徒にとっても理解しやすくなっている。単元ごとの章のまとめの問題も基本的な内容、発展的な内容と含まれており、学習しやすい配列・構成になっている。</p>					
7. 資料その他に関する観点					
<p>随所にイラストや写真が載せられており、生徒が理解しやすいように工夫されている。また、「やってみよう」や「考えてみよう」も含まれており生徒が理解しやすいように工夫されている。また、正しい知識を身につけさせるために資料もすべてのページに施されており、指導しやすくなっている。</p>					

1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

資料のスポーツ基本法により、スポーツを行う自由・権利などがわかる。スポーツは世界の合言葉としての紹介で、有名な選手の写真を大きく載せることにより、生徒に興味を持たせることができ、自己の判断と責任で道を切り拓いていくことができる能力の育成に役立つことがわかる。また、スポーツは、人種や性別の違い、障害の有無などをこえて人々を結びつけるということやパラリンピックを紹介することにより特別支援教育に関しても配慮していることがわかる。スポーツのルール・マナーが、協力や協調などの公共の精神を磨いていくことになり、また、社会性の発達にもつながっていくことがわかる。現代生活において、スポーツの楽しさや必要性などが豊かな人生につながるということがわかる。オリンピックの写真を大きく取り上げることで、国際社会に対する興味関心につながり、また、我が国の伝統のスポーツも知ることにつながる。単元終わりにある「学習のまとめ」は、重要な言葉チェックや学習の復習に有効である。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

2. 教育基本法に基づく観点

全体的に知識や教養を身に付け、健やかな身体をやしなうことについては配慮されている。道徳心、心理を求める態度を養う部分については、少し取り上げている。心のはたつきや発達、口絵りなどを通して、職業および生活との関連を表現している。また、トピックスなども取り入れており、心の発達がよく伝わる。運動が心にあたえる効果を表現し、ルールやマナー、コミュニケーションを大切にすることなどの社会性を示している。上水道のしくみ、廃棄物の処理、環境問題、地球温暖化など図を使用しわかりやすく表現されている。我が国の世界での活躍を中心に、国際スポーツ大会の役割について示されている。国際社会の平和についても資料7・8、トピックスでも紹介されている。

①②③④⑤

3. 学習指導要領に基づく観点

心と体を一体としてとらえることとして、「運動やスポーツが体にあたえる効果」を2時間、「心と体のかかわり」を1時間と、多く取り扱っている。運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることについて、本文に加え、巻末資料のトピックスプラスなどで取り上げているため、わかりやすくなっている。運動をする態度を育てることについては、少し取り上げている。生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることについて、さまざまなスポーツ文化や、オリンピック、パラリンピックを取り上げる中で、カラー写真やトピックス、ミニ知識など、興味関心が高まる内容が記載されている。個人生活における生涯を通じて自らの健康を考える資質や能力について、毎ページのはじめに「今日の学習課題」を明記しているため、目的意識を持って学習に取り組めるよう工夫されている。「指導計画の作成と内容の取扱い」のうち総論的な事項に対して、「考えてみよう」で問題提議がされているのでわかりやすい。また、道徳教育に基づいた内容も少し取り上げている。

①②③④⑤⑥

4. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく観点

運動やスポーツの必要性と楽しさについてふれ、運動が体にあたえる効果（生活習慣病の予防など）と運動不足の関係を示している。また安全な運動やスポーツの行い方について簡潔にまとめてありわかりやすい。学習のまとめでは「重要な言葉」<学習の要点>としてまとめられている。体力の向上を絵で示し、トピックス+という項目で、ニコニコベース走、マイトレーニングをつくらう！というものを紹介しており、子どもたちでも将来取り組める内容で示されている。また、スポーツの文化的意義や生涯スポーツ、日常生活のなかでの運動を紹介し、運動と生活活動の比較を絵で表現されておりわかりやすい。部活動や地域スポーツクラブとの関連は表現されていないが、一つの種目の技術や学び方を紹介している。種目習得のための一例だけではなく、視聴覚教材などを取り入れてフィードバックできるような内容が表記されていると、継続することの大切さが伝わるように感じられる。

①②③

5. 外的要素に関する観点

すべてのページにカラー印刷がされており、目にも優しくつくられている。また、資料も多くので、親しみやすい。しかし、文字の大きさが少し小さく感じる。製本も少し柔らかく、生徒のカバンの中や机に入れる際に型がついたり、折れ曲がったりする可能性がある。

6. 構成・配列に関する観点

分量も1時間内でしっかりと指導できるように工夫されている。見開きが1時間内で行うべきものということも生徒にとっても理解しやすくなっている。1単元が終わるごとのまとめの問題や基本的な内容や発展的な内容を理解させるための問題があれば、指導しやすい構成になる。

7. 資料その他に関する観点

イラストや写真が豊富につかわれており、興味・関心を引き出しやすくなっている。すべてのページに「資料」がのせられており、生徒が自ら学習に取り組めるように工夫されている。健康に関する現代的な課題については、「資料」などでより具体的にイメージすることができ指導しやすくなっている。

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

スポーツの実践は、すべての人の権利であると示されている。中学生の時期にいるようなスポーツを学ぶことが、将来自分の人生につながるということについて、写真や図を取り上げることににより、わかりやすく感じられる。スポーツが生活の質を向上させる手段であるということや、長い年月をかけて技術や施設などを工夫してきたことが取り上げられている。オリンピック・パラリンピックが日本にやってくる写真を取り上げることが、我が国の伝統文化の紹介になり、国際社会への関心の高まり、特別支援教育の配慮にもつながっている。章の後ろについてあるチャレンジや学習のまとめは、各自の学習に使えるよう工夫されている。資料や写真から、スポーツのルールやマナーを守り、コミュニケーションを取ることが道徳心・社会性の育成につながるということがわかる。毎日を活動的に過ごすこと、継続して計画的に運動やスポーツを行うことが健康・体力の保持増進につながると示されている。

2. 教育基本法に基づく観点

全体的に幅広く知識と教養を身に付けることができ、道徳心を培う内容も示されている。男女の平等、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことなど、性への関心と行動、心の発達と社会性、自己形成、心の健康などの分野で広く示されている。また、コミュニケーションをとることが、相談相手もでき、ストレスを解消する方法として掲載されている。環境問題については、資料も広く示されており、学習のまとめやワークシートも添付されている。オリンピックやパラリンピックだけではなく、国際的なスポーツ大会について、スポーツが平和へ大きく貢献したことが、取り上げられている。また、東京オリンピックでの閉会式のハプニングが掲載され、ハプニングがハプニングではなかったように表現され、子どもたちへの指導にも使用しやすい内容である。

3. 学習指導要領に基づく観点

心と体を一体としてとらえることとして、「心と体のかかわり」で1時間取り上げている。運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることについて、「Challenge」や「コラム」などを随所に取り入れ、理解を深めることができる内容になっている。運動をする態度を育てることについて、教科書の本文だけでは伝わりにくいところを図で示すなどして、わかりやすく工夫がされている。生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることについて、さまざまなスポーツ文化や、オリンピック、パラリンピックなど、多く取り上げている。さらに挿絵や写真を多くすると、興味・関心を引きつける内容になると思われる。健康・安全に関する個人生活との関わりについて、「コラム」や「発展」など、多く取り上げ、理解しやすい内容になっている。「指導計画の作成と内容の取扱い」のうち総論的な事項に対して、道徳教育に基づいた内容も少し取り上げている。

4. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく観点

運動やスポーツの必要性と楽しさについてふれ、運動と体・心の健康について、体の健康については「継続的に運動している人は死亡率が低い」、心の健康については「運動することによって、気分転換になったりストレスが軽減したりする・仲間との楽しいコミュニケーションの機会になる」と表現されており、健康の増進と体力の向上が図れるよう工夫されている。体力要素と体力を高める運動の例を写真と図で表現し、体づくり運動も解説のために見本となる映像や上手な仲間の動きを観察する、自分の動きをビデオで確認しフィードバックすることが表現されている。「だれもが継続してスポーツに親しめるように」という表現で、地域スポーツクラブについて少しふれられている。

5. 外的要素に関する観点

すべてのページにカラー印刷がされており、目にも優しくつくられている。また、文字の大きさも適切であり、生徒にとっても読みやすい工夫がなされている。すべての単元でイラストが施されており、生徒にとってわかりやすく、親しみやすいものになっている。

6. 構成・配列に関する観点

保健分野と体育理論があるが、配当時間数の多い保健分野が前にある方が指導しやすい。実践力を高める問題として「Challenge」問題があり、生徒に実践的な課題や取り組みを指導するうえでとり扱いやすくなっている。

7. 資料その他に関する観点

随所にイラストや写真がのせられており、生徒が理解しやすいような工夫がなされている。また、すべてのページに「図」や「コラム」がのせられていることも生徒が学習を進めていくうえで、行いやすい工夫がなされている。章のまとめでの基本的な復習問題等があれば、さらに、知識を定着させることができる。

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

資料のスポーツ基本法より、スポーツを行う自由・権利・コラムより、そこから生まれてくる責任・規範意識が伝わってくる。オリンピックの歴史を写真で追っていくことにより、昔から自分の努力と判断で将来を切り開いていることが読み取れる。また、最近のオリンピアンからのメッセージは大変親しみやすい。資料により、公共の精神に基づき、スポーツのルールとマナーを尊重する大切さがわかりやすくなっている。現代生活におけるスポーツが、豊かな人生を送るために必要であるとふれられている。世界で活躍する人々の紹介が具体的で、身近に感じられるように工夫がされている。世界糖尿病デーで青くライトアップされた、大阪城が写真で取り上げられていることが、我が国の郷土の伝統と大阪にふさわしい文化の創造につながっている。各章ごとにまとめる問題がついており、学習意欲を高めるように配慮されている。保健分野では、生命尊重など道徳心について、体育写真で取り上げられている。健康・体力の保持増進をエクササイズで写真入りで取り上げられている。スポーツが障がいのある無などにかかわらず楽しめるということや、ユニバーサルスポーツが

<①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪>

2. 教育基本法に基づく観点

全体的な配分もちょうど良く、分野についても理解しやすく表現されている。スポーツをする、見る、支えるという観点で表現されており、特にスポーツに関わる仕事や心身の健康を守り育てる仕事、安全を守る仕事などが紹介されている。様々な分野で個人の価値を尊重する内容が示されている。心の発達と社会性、スポーツと社会性、自己形成など公共の精神に基づき、社会形成へのつながりを表現している。安全な水が供給される様子を図で説明しわかりやすくなっている。大気汚染、し尿・ゴミ処理、公害や水質汚濁、地球温暖化にもふれ、循環型社会の必要性をわかりやすく表現している。東日本大震災について放射線と健康についてもふれている。国際スポーツ大会については、特にオリンピックについて大きくふれており、国際社会の平和については、コラム等で紹介されている。全体的に、見やすい、読みやすい、理解しやすい内容でまとめられている。

<①②③④⑤>

3. 学習指導要領に基づく観点

目標の「心と体を一体としてとらえる」点において、さまざまな観点から幅広く掲載され、「健康の保持増進」の点では、本文以外の各章末に「探求しようよ！」というページで見やすくわかりやすく取り上げられているので理解が深めやすい。運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることについて、資料を随所に設けることで、わかりやすく掲載されている。運動をする態度を育てることについて、身近な内容で適度に取り上げているので、理解しやすいと思う。本文以外に「コラム」欄があり、興味関心が高い内容になっているので、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることについて、十分に配慮されている。健康・安全に関する個人生活との関わりについて、口絵のページやキーワードを充実させ、しっかりと考えさせる内容が所々設けられている。「指導計画の作成と内容の取扱い」のうち総論的な事項に対して、オリンピアンの中學生へのメッセージは生徒の心に響くような内容であり、道徳教育に基づいた適切な配慮もイラストや写真等でなされている。

<①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩>

4. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく観点

健康づくりのための運動には、「安全であること」「効果があること」「楽しいこと」という三つの条件を挙げている。安全面について詳しく書かれており、運動をおこなう強度などを知ることができる。スポーツが体に及ぼす効果について、体力測定と体力について、コラムとして紹介している。スポーツの安全な行い方について4項目書かれており、内容も簡潔でわかりやすい。また災害から身を守る力としての体力の必要性を「探求しようよ」でわかりやすく表現している。毎日の運動やスポーツの実践について、もう少しページ数を使用して表現できると①との関連性も望める。スポーツの学び方で、技術や戦術のなかで、自分に合った目標や課題の設定・よき動きの理解をするための例を挙げ、情報機器の活用も紹介されており継続性の必要が表現されている。人々を結びつけるスポーツとして、クラブにおいて仲間同士の協力や団結を強めるという表現でまとめられている。

<①②③>

5. 外的要素に関する観点

製本も丈夫につくられており、装丁も生徒にとって親しみやすくなるようにつくられている。すべてのページでカラー印刷がされており、目にも優しく鮮明である。また、文字の大きさも適切であり、字間、行間も生徒にとっても読みやすい工夫がなされている。すべての単元でイラストが施されており、生徒にとってわかりやすく、親しみやすいものになっている。

6. 構成・配列に関する観点

保健分野と体育理論にわけられており、時間数の多い保健分野から配列されている点も使用しやすくなっている。また、まとめて構成されているので領域の系統性もつかみやすい。分量も1時間内でしっかりと指導できるように工夫されている。見開きが1時間内で行うべきものということも生徒にとっても理解しやすくなっている。単元ごとの章のまとめの問題も基本的な内容と発展的な内容が含まれており、学習しやすい配列・構成になっている。

7. 資料その他に関する観点

随所にイラストや写真がのせられており、生徒が理解しやすいような工夫がなされている。また、すべてのページに「資料」が載せられていることも生徒が学習を進めていくうえで、行いやすい工夫がなされている。健康に関する現代的な課題についても「コラム」や「活用しよう」などを使用し理解しやすい内容になっており、生徒の興味・関心をひくものとなっている。